

## 平成 29 年度 第 2 回九州大学病院医療安全監査委員会報告書

今回の医療安全監査委員会では、まず、第 1 回監査委員会での指摘や提案に関する改善状況について各関係者から聴取するとともに、必要関係書類についても確認した。次に、事前に通知していたいくつかの監査項目に関して監査を実施しました。その後、手術を安全に確保するための手順に関して、実際の状況を確認するためにラウンドを実施しました。審議の上本監査報告書を作成しましたので、提出いたします。

### 1. 期日、対応者

(1) 日 時 : 平成 30 年 2 月 13 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00

(2) 場 所 : 北棟 2 階 多目的室

(3) 出席者 :

委員長 古賀 和徳 (産業医科大学)

委員 木村 早希子 (佐賀大学)

高橋 一久 (産業医科大学)

秋好 美代子 (さく病院)

久保井 摂 (九州合同法律事務所)

宮部 治恵 (NPO キャンサーサポート)

(4) 九州大学病院出席者 :

外副病院長 (医療安全管理責任者)

後医療安全管理部長

金谷薬剤部副部長 (セーフティマネージャー)

池田看護師長 (セーフティマネージャー)

泉副看護師長 (セーフティマネージャー)

福本副看護師長 (セーフティマネージャー)

大賀医療管理課長、山本医療管理課長補佐

山根医療法規係長、西村係員、田中係員

### 2. 第 1 回監査委員会での指摘や提案に対する改善状況について

医療安全管理マニュアル等に医療安全管理責任者の役割が盛り込まれたかどうか確認したところ、「九州大学病院副院長に関する内規」に医療安全管理責任者の位置付けが明記されたこと、ならびに「九州大学病院医療安全管理委員会規定」に、委員として医療安全管理責任者を置くことが明記されたことを確認した。また、医療安全管理委員会の下部委員会である医薬品安全管理専門委員会、ならびに医療機器安全管理専門委員会の業務内容について関係者から説明を受け、医療安全管理体制が機能的に組織、運営されていることを確認した。

### 3. 医療安全対策マニュアルの改定内容と周知について

医療安全対策マニュアルについては、必要に応じて毎年改訂され、改訂箇所についてはリスクマネージャー会議や全職員向け研修で周知を図っていることを確認した。

### 4. 高難度新規医療技術および未承認医薬品等の審査事項について

昨年10月以降、高度新規医療評価部において5例の申請について評価を行っており、実施報告についても適宜確認がなされていた。うち1例について申請から評価、実施報告の確認までの一連の流れを確認することができ、高度新規医療評価部が柔軟に機能しているのを確認した。

### 5. 医療安全に関する内部通報の実績について

医療安全に関する内部通報については、第1回監査委員会でも示されたように、医療安全管理部への従来の報告体制以外に、びょういんほっとラインと公益通報窓口が設置されている。内部通報の実績はこれまでのところゼロであるが、公益通報の前段階で医療安全管理部がインシデント報告として十分に掌握できているためと思われた。

### 6. 手術を安全に確保するための手順について（ラウンド実施）

模擬患者の協力を得て、病棟から手術部へ搬出する際の手順（申し送り書類、手術・麻酔説明書や同意書、輸血同意書、リストバンド、手術部位マーキングの確認等）、ならびに手術部入室の際の手順（患者確認、手術同意書の確認、アレルギーの有無、手術部位マーキングの確認等）の実際を確認することができた。とくにマーキングに関しては、主治医が病棟で行い、患者搬出前に確認し、さらに手術部入室前に主治医とともに再確認、そして手術室内で手術安全にチェックリストを用いて最終確認する、という何重もの確認を実施しているのが非常に印象的であった。また、そのプロセスの中で患者参画が手術安全の向上に大いに寄与していることも感じられた。

### 7. 改善を求める事項

特に改善を求める事項は認めない。

以上

平成30年3月22日

九州大学病院医療安全監査委員会

委員長 古賀 和徳



(産業医科大学病院 医療安全管理部長)